

■会員 Now

風力発電へのとりくみ

有限会社ネクストエネルギー 代表取締役 **東野 政則**

はじめに

平成5年、今想えば楽しかったサラリーマン生活に別れを告げ有限会社ネクストエネルギーを設立いたしました。社名は「次に何をしようか・・・？」と考えていたので「ネクスト」とした次第で、遊び半分の社名となっていますが、今は少しだけ気に入っております。

細々とコンサル事業を行なっているため紹介することも少なく、できれば「24ポイント」程度の大きな文字で余白を埋めたいのですが、余白は写真で埋めることにしました。

事業の紹介など

風力発電に関するコンサルテーション業務を中心に行なっております。生活のために仕方なくその他新エネルギーに関する調査も行なうこともあります。人生相談は行なっておりません。

風力発電に関しては「風況観測・評価」、「風況シミュレーション・最適風車配置の提言」、「機種選定・事業費積算」、「システム・実施設計」、「環境影響評価調査」、「プロジェクトファイナンス評価」など立地調査から事業性の評価まで一連のコンサルテーションを行なっております。ただ、零細企業で実力も無いことから弊社単独で実施できる内容は少なく JWPA 会員会社をはじめ、多くの企業の方からの支援を頂き何とか業務こなしている次第です。

ここ数年は JWPA ならびに協会会員の皆様と一緒に洋上風力発電に関する調査に着手し、その中で多くの漁業関係者の方々とお話する機会を持つことが出来ました。燃料代の高騰あるいは温暖化(?)による海域環境の変化に伴い漁業環境も大きく変化し、漁業関係者にとっても新エネルギーの導入やそれに伴うエネルギーの節約が身近な問題となっていることが確認でき、陸上風力から洋上風力へシフトする時がまさに今であることを感じた次第です。

洋上風力開発には技術的な面での対策や開発なども重要ですが、地元関係者(特に漁業)との協調が重要なことは言うまでもありません。

現在も洋上風力開発に関するプロジェクトに携わっている中、洋上風力開発の最良の策は自らが漁業組合長になり、全国の漁組に広く呼びかけては、と本気(半分)で思っているところです。先日電車の中吊りで「漁業就業支援フェア 2008」の紹介を見て参加について電話で確認をしていましたら取締役(女房)に睨まれ断念。以上、役にたたない紹介でした。

今後について

組合長への道はさておき、今後は洋上風力開発のために、沿岸部における「漁業権海域」が水産資源のみならずエネルギーも収穫できる場であることを多くの漁業関係者の方に認識していただき、漁業関係者と風力発電事業者とのコラボレーションが形成できるよう、弊社にできることをもう少し頑張ってみようかと思っている次第です。皆様、応援してください。

昨年の末に洋上風力のカンファレンスでドイツ行きましたがそのときのクリスマスイルミネーションがとても綺麗でした。それに関連して会社紹介とは全く関係ないですがドイツエルツ地方に伝わるクリスマスピラミッドの紹介です。四方にあるローソクに火をと点すと、ゆっくり羽根が回りだします。天井に映し出される影が幻想的です。

なぜかこれは熊本県の水前寺公園の近くの怪しいお店で購入しました。

